

三和分校

PTA だより



京都府立福知山高等学校三和分校PTA

令和8年2月27日発行



家政科 京都探究エキスポ



農業科 ビューティフルウィンドウズ活動



1年生 ALTによる英語授業



農業科・家政科 京都府庁販売



農業科 松竹梅寄せ植え製作



家政科 木津高校との交流会



農業科 エスバック社の企業交流会



学習発表会



4年生 PTA研修会



1年生 読書週間

PTA会員の皆様には、日頃から三和分校の教育活動に御理解・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。2月27日に令和7年度卒業式を迎え、卒業生は次のステージへ向かって巣立っていきます。卒業生ならびに保護者の皆様には、あらためて心よりお祝い申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症については一定克服したと考えられますが、夏の猛暑や地震などの自然災害に対して、多様で臨機応変な危機対応が必要となっています。そのような中で、教育活動の推進に苦慮する面が多くありますが、今年度も様々な教育活動を生徒たちの頑張り、保護者の皆様の御理解・御協力で無事に終えることができました。あらためて感謝申し上げます。

農業科では、福知山市の花「キキョウ」を利用した企業とのコラボの取組や地元地域の緑化植栽作業、日々の生産活動、販売活動などを通して、地域や企業などとのつながりも大切に活動を行うことができました。また、家政科では、食品加工室(MVP)を活用し、「したるさかいに」をはじめとする本校独自の製品の開発に意欲的に取り組むとともに、様々なコンテストへの挑戦、「京都探究エキスポ2025」での成果発表など意欲的に取り組むことができました。

次々と想定外の出来事が起こる今の時代、将来を見通すことが困難で、“正解のない”時代を力強く生き抜くためには、自分の意志・判断、責任を持って行動する「主体性」、色々なものがあること、変化に富んでいることを受け入れる「多様性」、異なる強みを持つ者が、責任と役割を分担し、ともに汗をかいて、成果を共有する「協働性」を持ち、課題を解決していくことが必要となります。生徒には、学校生活を通して様々なことに前向きにチャレンジし、5K力(「感じる力」「考える力」「行動する力」「関わる力」「向上する力」)を伸ばし、「汎用的能力」(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力等)を身に付けてほしい。そして自らの強み(個)を活かし、人のため、社会のため(公)に生きる人として、持続可能な社会の創出、ウェルビーイングに貢献できる人となってほしいと思います。そのような思いで、今年度これまでの式辞等の中で、私が生徒に話してきた一部を紹介します。

○学校生活において、「自分の個性を自覚する」「自分の限界を自覚する」「共生＝共に生きることを自覚する」の3つの自覚を養ってほしい。

○ As you sow, so shall you reap (汝等種蒔けば、必ず刈取る事を得ん)

蒔いた種は刈り取らねばならない。すなわち「自分の行動や選択には必ず結果が伴う」、「自分の行いが必ず未来の結果に繋がる」ということである。

○「ステージが上がる。そのためには覚悟が必要である。」

覚悟を持つということは、「現状を超える決意」「努力」「失敗を恐れない姿勢」「責任感を持つこと」「環境の変化を受け入れる柔軟さ」「自分を信じること」である

○成功する人とは、「成功率が高い人」ではなく、「挑戦する回数が多い人」である。大切なことは、「あきらめずに挑戦し続けること」。つまり、自分の「可能性を信じること」である。

○「3つのタイ」「認められたい」「褒められたい」「役に立ちたい」

「認められたい」とは、自分の努力や存在に意味を見出したいという思いである。

「褒められたい」とは、誰かとのつながりの中で、自分の頑張りが届いてほしいという願いである。

「役に立ちたい」とは、自分の力で誰かを支えたり、助けたりしたいという優しさから生まれる気持ちである。

これらの気持ちは、人とのつながりの中で自分を活かし、成長していこうとする、前向きなエネルギーである。

○「3つのタイカ」(「体力」「忍耐力」「連帯力」)

体力とは、健康な体と心を支える基本であり、しっかり食べて、しっかり寝て、鍛える。日々の生活の中で、自分を整えることである。

忍耐力とは、すぐに結果が出ないときも、あきらめずに続ける力であり、目の前の困難を乗り越えるために欠かせない。

連帯力とは、仲間と力を合わせる力であり、自分一人ではできないことも、誰かとつながることで可能になる。

○人は時に自分を否定してくれるような異質の情報や考え方に触れることが大事である。読書にはそのような役割があり、書店(図書館)には異質の情報や考え方に目を向ける機会、人生の方向性を決めるような偶然の出会いがある。たくさんの本を手に取り、自分の世界を広げてくれる心の旅、すなわち読書をしてほしい。

○「日日是好日」

「過去を悔やまず、未来を心配せず、今をしっかりと生きよ」という意味であり、どんな日も、学びと成長の機会である。過去や未来にとらわれず「今」に集中する。「今日という一日を丁寧に生きる」ことが大切。小さな努力を積み重ねることで、必ず未来は開ける。

○最高のポジティブ思考「いまのわたしは人生で最強なの。いまのわたしは、過去から見たら一番人生経験豊富で、未来から見たら一番若々しいでしょ。何でもできちゃう気がしない？」(森沢明夫著『ロールキャベツ』より)

結びに、PTA会員の皆様方には、福高応援団として本校の教育活動に御理解御協力をいただきますよう心よりお願い申し上げますとともに、皆様のますますの御健勝をお祈りし、御挨拶といたします。



祝 卒業おめでとう!

★卒業生からのメッセージ★

後 柊太

- ①高校生活の思い出
最後の体育祭で団長をして、皆と楽しく出来たし、最高に良い思い出や経験が出来た!
- ②高校生活で成長したところ
人と関わる事が増えてコミュニケーションや協力する力が身についた!
- ③みんなに向けて一言
4年間ありがとう!
毎日刺激的で色々な事があって楽しかった!
9人で卒業出来たらうれしいなw
- ④保護者へ一言
毎日学校に行けたのは、両親の支えがあったからです。
4年間ありがとう!

大隅 翔太

- ①高校生活の思い出
中学校ではあまり学べなかった農業を、高校では沢山勉強できた。
- ②高校生活で成長したところ
資格取得や役員などを経験し、我慢強くなった。
- ③みんなに向けて一言
4年間ありがとうございました。お世話になりました。
- ④保護者へ一言
今まで、ありがとう。

坂菰 一馬

- ①高校生活の思い出
いろんな行事でたくさん笑えたのが思い出だと思います。
- ②高校生活で成長したところ
たくさんの人と仲良く話せたところ。
- ③みんなに向けて一言
みんなこれから大変な所がたくさんあると思うけれど頑張れ!
- ④保護者へ一言
いつも弁当を作ってくれてありがとう。

櫻井 和望

- ①高校生活の思い出
最初は農業に関してあまり知識がなかったけれど、4年間のうちにたくさんを知り、経験することができて楽しかったです。
- ②高校生活で成長したところ
目の前のことを一つ一つ確実にこなし、他に自分ができることはないかと、考える力をつけることができました。
- ③みんなに向けて一言
これまで色々なことがあったけれど、楽しい4年間でした。ありがとうございました。
- ④保護者へ一言
いつも朝早くに起きて、弁当を作ってくれてありがとう。

渋沢 進一朗

- ①高校生活の思い出
修学旅行で同部屋の友達が「パーナージイイ!!!」って叫んでいた。友達はドアが開いていると知らずに、
- ②高校生活で成長したところ
コミュニケーション能力だと思います。
友達と喋ることが増えた。
- ③みんなに向けて一言
未来はまだ決まっていない、誰でもそうだ。未来は自分で切り開くものなんだ。だから強い意志を持って行動すれば夢は叶う。何事も成せば成る!
- ④保護者へ一言
父へ 毎日送ってくれてありがとう!
母へ 毎日おにぎりを作ってくれてありがとう!

島崎 龍牙

- ①高校生活の思い出
毎日クラスの中でなにかしら出来事があり、日々とても楽しかった。
- ②高校生活で成長したところ
みんなと行動する時、声掛けなどができるようになった。
- ③みんなに向けて一言
4年間ありがとうございました。
高校生活、色んな経験を通して成長できることがたくさんありました。
- ④保護者へ一言
4年間ありがとうございました。

細野 大翔

- ①高校生活の思い出
みんなといろんなところに遊びに行ったことです。
- ②高校生活で成長したところ
今までよりもコミュニケーション能力が格段に上がりました。
- ③みんなに向けて一言
4年間ありがとう!
みんなのおかげで高校生活楽しかった。
これからもよろしくね!
- ④保護者へ一言
いつもありがとう。これからもよろしく。

山口 希硬

- ①高校生活の思い出
毎日が楽しく何も無い日がないくらい楽しい学校生活でした。
- ②高校生活で成長したところ
様々な人の考え方を聞いてそれを自分のものにした。以前よりもコミュニケーション能力が上がった気がする。
- ③みんなに向けて一言
4年間ありがとう! 毎日楽しかったしおかげで成長できた!
頼もしい後輩ができてよかった!
これからも頑張ってください。
- ④保護者へ一言
毎日文句を言わずお弁当の準備や、送り迎えをしてくれてありがとう。

向井 なな

- ①高校生活の思い出
家政科で調理や裁縫などの技術を身につけることができました。
できることの幅が広がり、楽しかったです。
- ②高校生活で成長したところ
大変な課題でも最後まで取り組むことが出来たことです。
- ③みんなに向けて一言
4年間ありがとうございました。
- ④保護者へ一言
いつも送迎してくれてありがとう。

4年生のみなさん、卒業おめでとうございます。有意義な高校生活を送ることが出来ましたか？私は、みなさんと出会ってからの2年間は非常に有意義で、2年の歳月が瞬く間に過ぎ去ってしまいました。

さて、高校生活でもそれぞれ苦労したことが多々あったとは思いますが、社会に出るともっと大きな困難に何度も直面すると思います。そんなみなさんに5つのアドバイスを送り、みなさんの門出をお祝いさせていただきます。

①「目の前のことを精一杯頑張る人」になってください。頑張っていると、あなたの頑張りを見つけ、応援してくれる人が現れるはず。何事も頑張り、多くの人に愛されてください。

②「わからないことはどんどん聞く人」になってください。わからないことを放置したり、わからないまま進めると必ずそのツケが回ってきます。「大人」と言ってもみなさんは社会ではまだまだ未熟です。失敗しても何度も聞いて学び続けて下さい。

③「間違ったことは素直に認めて改める人」になってください。「過ちて改めざる。これを過ちという。」という言葉があります。失敗したあと、同じ失敗を繰り返さないように学ぶことが大切です。

④「信念を持った人」になってください。これから様々な場面で悩み、迷うことがあると思います。そんな時に、「自分はこんな人になりたい！」「これだけは大切にしたい！」などの信念があると、自分が進むべき道が見えてくるはず。自分も他人も認め合い、お互いを助け、高め合える人であり続けて下さい。

⑤「自他を認め、高め合う人」になってください。2年間クラス方針にしていた言葉です。「自分は〇〇が違うからダメ」「あの人は〇〇が違うからダメ」と排他的な考えではなく、「自分は〇〇な面もある」「あの人は〇〇な面もある」と自分も他人も認め合い、お互いを助け、高め合える人であり続けて下さい。

最後になりましたが、保護者等の皆様、これまで三和分校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。皆様の御尽力をいただいたことで卒業を迎えることができますことを感謝するとともに、お慶び申し上げます。

4年生 なつかし写真集！



1年生 4月集合写真

1年生 11月文化祭

2年生、11月修学旅行



2年生 12月家庭基礎 調理実習

2年生 6月農業科総合実習

2年生 10月体育祭

『 御卒業おめでとうございます 』

卒業生 保護者

毎日送迎する車中は30分。その間の会話が、私はとても好きでした。

一年生の頃は、とにかく緊張していて、車内では私が話すばかりでした。頑張っていた矢先、つらいことが重なり、心身ともに崩れて、しばらく休むことになりました。その後、「もう通わないかな…」と思った通学路を再び走り始め、車内でも少しずつ会話ができるようになりました。内容は学校や進路、バイトの話などで、怒ったり笑ったりしながら、二人で過ごす大切な時間となりました。私も仕事前の送りは、慣れるまでは必死でしたが、「しんどいな」と思っていた道にも、次第に窓から四季の変化を眺める余裕が生まれてきました。親子ともに成長させてもらったのだなと、しみじみ感じています。

三和分校は、少人数で我が子に適した学校でした。雰囲気も温かく、周りの生徒さんも優しくかったです。先生方に悩みを相談すると、何度も解決案を考えてくださったり、我が子の興味のあることを知って声をかけてくださったりしました。後になって子どもから聞き、胸が熱くなるほど嬉しかったです。

農業科と家政科の二学科があったことも、良かったと感じています。どちらの学科も生活の基礎となる学びが多く、丁寧にゆっくり学ばせてもらったことが、本人の自信につながったと思います。洋服作りや加工室でのプリン作り、ピザやパン作りの話、作業前の注意点や作業台の掃除の仕方を教えてもらったこと、スーパーでフードロス削減につながる食品を見つけることなど…高校生活を通して、知識と関心が広がっていきました。

たくさんの励ましと見守りがあったおかげで、卒業することができます。今後ご縁を大切にしながら、自分のペースで新しい人生を歩めますように。卒業する皆さんが、それぞれの良さを生かして、楽しく生活できますようお祈りしています。

高校生活でお世話になったすべての皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

『 御卒業おめでとうございます。 』

卒業生 保護者

卒業を迎えられ、長いようで短い四年間を無事に過ごされたことを、うれしく思います。入学当初は、早起きをしてバスで学校へ通う生活が始まり、疲れて車内で眠ってしまう日もあったことと思います。帰宅したときには疲れ切った表情をしていることもありましたが、学校生活に慣れるにつれ、元気に帰宅できるようになりました。

また、農業の経験がなく、授業での作業は大丈夫だろうかと心配していました。夏の作業は、特にハウス内が高温になるため、授業中に体力がもつのだろうかと思うこともありましたが、夏休みにも登校して野菜に水やりをするなど、暑い中での作業をよく頑張っていました。農業の実習を通してさまざまなことを学び、それを自分の力にできるようになりました。

修学旅行は台風の影響で日程が変更になったり、一日短くなったりしましたが、沖縄へ行き、家や学校とは違う環境で生活する貴重な経験ができました。体育祭や文化祭では、準備や販売などの役割もあり、忙しい日が続くこともありましたが、その中で学校生活を重ねるたびに、入学当初よりも成長し、頼もしくなっていました。一年一年の学校生活での学び、そして先生方の御指導に、心より感謝申し上げます。

『 御卒業おめでとうございます。 』

卒業生 保護者

四年生の皆さん、この度は御卒業おめでとうございます。

入学当初は期待と不安が交錯する中、皆さんは、淡々と毎日の学校生活を送ってこられました。一大イベントである修学旅行においては、台風による天候不良にて延期となり心配しましたが、先生方や旅行会社の担当者様の御尽力のおかげをもち、実施していただき、たくさんの思い出作りができたと思います。

卒業生の皆さん、卒業後それぞれの新生活が始まります。これからは、自分で考え判断して、実行していくことが多くなります。自分に責任を負わなくてはならないことが増えてきますが、迷った時や判断できないことがあれば、周りの方に必ず相談をするようにしてください。的確なアドバイスをしてくれることと思います。頑張りすぎにも気をつけてください。

最後になりましたが、校長先生 副校長先生をはじめ、教職員の皆様方には、多大なる御指導をいただき、ありがとうございました。本当に御世話になりました。

各種表彰

● 全国高等学校校定時制通信制
教育振興会表彰

大隅 翔太

● 産業教育振興会
中央会会長表彰

大隅 翔太

● 京都府産業教育振興会
会長表彰

山口 希硬 向井 なな

● 京都府立高等学校校
職業に関する専門学科生徒

京都府教育委員会教育長表彰

櫻井 和望 渋谷 進一朗
島崎 龍牙 山口 希硬

● 京都府学校
農業クラブ連盟会表彰

大隅 翔太

● 全国農業高等学校校長協会表彰

大隅 翔太



「4年生を送る会」より



卒業記念品

卒業生より、卒業記念品として学校にベンチを寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。



進路選択は、生徒一人ひとりの個性やペースに応じて進めていくものです。今年度卒業予定の四年生も、地元での就職や進学を選んだ生徒、地元を離れて専門的な分野を学ぶ道を選んだ生徒など、それぞれが自分の将来と真剣に向き合い、悩み、考え、挑戦を重ねながら進路を決定しました。

二月には「卒業後の進路について」をテーマに、PTA会員の皆様にも三和分校の進路指導の取組を紹介する研修会を実施しました。その中でもお伝えしたように、進路を考えるうえで大切なのは「自己理解」です。自分に何ができるのか、何が苦手なのか、どのような人生を歩みたいのかを見つめ直すことが、進路選択の第一歩となります。

とはいえ、自分自身と向き合うことは簡単ではありません。だからこそ、家族や学校の仲間と相談しながら考えることが大切です。誰かに話すことで自分の考えが整理され、新たな気づきやアドバイスを得ることができます。こうした対話が、進路のミスマッチを防ぐことにもつながります。

また、自分の考えを言葉にすることが苦手な生徒も少なくありません。「四年生になってから考えればいい」ではなく、日頃から「自分の考えをまとめ、人に伝える」ことを意識して取り組んでほしいと思います。さらに、インターンシップや職場見学、オープンキャンパスなどの機会を積極的に活用し、さまざまな情報を集めることも大切です。そうした経験が、卒業後の進路を考えるうえで貴重な材料となります。

御家庭でも、ぜひ卒業後の進路について話題にさせていただき、親子で一緒に考える時間を持っていただければと思います。今後とも、生徒一人ひとりの希望進路の実現に向けて、御理解と御協力をよろしくお願いいたします。



企業によるキャリア教育講演会



資格取得の状況

(2月9日までの判明分)

◆全国高等学校家庭科技術検定

【食物調理2級】

塩見 晃央 原田 真優心

【被服製作3級】

塩見 晃央 島村 柚輝
下森 依咲 十倉 朔
内藤 樹里 内藤 望愛
南條 哉真斗 原田 真優心
平塚 紗綾

【保育技術・造形表現3級】

井爪 結栴 大木 知実
四方 璃音 吉田 茉生

第2回PTA総会

2月7日、第2回PTA総会を開催し、活動の中間報告、会計中間報告及び令和8年度PTA会費について審議・承認されました。ありがとうございました。



PTA総会の様子

総会に先立ってPTA研修会を実施し、1〜3年生生徒・保護者は、進路部長より、「卒業後の進路学習」について、三和分校の進路学習などについて、4年生は、中丹広域振興局の消費生活相談員より「消費者問題」として、契約と消費トラブル等について、話をさせていただきました。

令和7年度 生徒総会

令和8年度 新生徒会役員選挙

【令和8年度生徒会役員】

□ 会長 池田 竜介
□ 副会長 朝日 慎也
□ 議長 木場 莉央
□ 書記 松浦 なぎ
□ 総務 内藤 樹里
□ 会計 十倉 朔
塩見 悠那
衣川 晃央



学校評価アンケートより

昨年暮れに、保護者の皆さまから回答をいただきました。御協力ありがとうございました。集約結果を報告いたします。全体としては、すべての項目で肯定的な意見が多くを占めており、教職員にとって、日々の教育活動の励みとなりました。引き続き、教育活動の様子をホームページ、インスタグラム、お知らせメール等で紹介していきたいと思っております。

「活発なPTA活動」という項目において、「よくあてはまる」が低い評価となりました。今後は、保護者の皆様の声を大切にしながら、参加しやすく、負担の少ない活動となるよう工夫を重ねていきたいと考えています。これらの結果を真摯に受け止め、これまで以上に三和分校の教育活動の充実をめざしてまいります。今後とも御理解・御協力をよろしくお願いいたします。生徒へのアンケートもあわせてホームページに掲載いたしますので、御覧ください。

令和7年度学校評価アンケート (保護者:人) 三和分校

